

# 日臨技企画

## 1. 「病棟業務ミニシンポジウム」

[12月10日 10:40~11:50 第1会場]

### ねらい

チーム医療の中で臨床検査技師の専門性を生かす新基軸のひとつとして、病棟業務への参画は重要である。医師、看護師、薬剤師、理学・作業療法士だけでなく臨床検査技師の活躍の場は意外に多い。平成27年10月に発足した日臨技の病棟業務推進施設情報連絡協議会には、既に全国756施設が加入して情報を共有しており（平成28年6月17日現在）、本シンポジウムでは加入7施設の実際の活動報告を受けて本音と実益のあるディスカッションを行いたい。

座長：病棟業務推進施設情報連絡協議会 深澤 恵 治  
（独立行政法人 地域医療推進機構 群馬中央病院）

検査科看護部ワーキングから病棟検査技師活動への試み

山田 幸司 （JA 愛知厚生連足助病院）

病棟における検体採取への業務拡大について

水落 富士代 （公立南砺中央病院）

病棟における早朝採血結果の確認、報告について

新井 一輝 （医療法人 医仁会 さくら総合病院）

病棟における検査備品管理について ～病棟業務拡大にむけての第一歩～

坂下 真紀子 （特定医療法人社団 勝木会 やわたメディカルセンター）

当院における臨床検査技師の病棟業務に関する試み ～病棟糖尿病カンファレンスについて～

小倉 敦子 （公立松任石川中央病院）

当院における新生児センター専任技師の取り組みと役割

水口 和代 （安城更生病院）

当院での臨床検査技師による病棟採血実施の経緯と現状について

清水 憲雄 （磐田市立総合病院）

## 2. 「術中モニタリング」

[12月10日 11:00~11:50 第2会場]

### ねらい

術中モニタリングにおける補助作業は、法整備によって2011年より医療資格者のみが行うことになり、その大半は臨床検査技師が担当することとなった。手術中のモニタリングにおけるチェックは生命の安全維持に大きく関わっており、必要となる術式には必須項目であり、全国的にも行う施設が増加している。また、術中モニタリングの検査は解剖学知識に加えて高度な神経生理学と電気工学的知識を要し、さらには手術場という枠の中でのチーム医療と的確な臨床判断が要求される。この企画では術中モニタリングにおける知識および技術の情報提供と医療現場でのチームワークの理想と実際を学ぶことを目的としている。

石郷 景子 （大垣市民病院）

司会：高橋 修 （慶応義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室）

### 3.「養成校学生企画」ワークショップ

[12月10日 10:20~11:50 第4会場]

#### ねらい

「あなたにとって、『良い臨床検査技師』とはどのような臨床検査技師ですか？」

学生の皆さん、あなたが将来になりたいのはどんな臨床検査技師ですか？

現役臨床検査技師の皆さん、あなたが上司や後輩に求めるのはどんな臨床検査技師像ですか？

養成校の教員の皆さん、あなたが育てたいのはどんな臨床検査技師ですか？

「『良い臨床検査技師』ってどんな技師？」をテーマとして、立場の異なる3名のプレゼンターとともに、「学生」「現役の臨床検査技師」「養成校の教員」が、それぞれの「良い臨床検査技師像」について、対等な立場で考え、討論するワークショップ形式の企画である。3つの異なる立場からみた「良い臨床検査技師像」について事前アンケートを実施し、それぞれが描く違った臨床検査技師像を知り、共有化することにより、次世代を担う臨床検査技師のあるべき姿の模索を目的とする。

司会・進行：關谷 暁子（金沢大学医薬保健学域保健学類 検査技術科学専攻・助教）

プレゼンター（臨床検査技師）：中村 雅彦（富山県立中央病院 臨床検査部検査科）

プレゼンター（教員）：岡本 成史（金沢大学医薬保健学域保健学類検査技術科学専攻・教授）

プレゼンター（学生）：未定（金沢大学医薬保健学域保健学類検査技術科学専攻）

参加される方は事前登録をお願いします。多くの臨床検査技師の皆様のご参加をお待ちしております。

参加申込フォームはこちら→ <https://goo.gl/forms/tvYsXfuTPHKNzKR82>

事前アンケートはこちら→ <http://goo.gl/forms/FzKKfA7BrkjW7IAV2>

【下のQRコードから、簡単にアクセスできます】



（参加申込）



（アンケート）

\*参加される方は必ず事前アンケートに回答をしてください（1人1回）。

\*アンケートはどなたでも回答いただけます。ご協力をお願いします。

\*会場後方をオブザーバー席とします。ワークショップに参加されない皆様も、お気軽にご来場ください。